

2018-13-3

馬 心臓

山本彩加

- 提出機関； University of Glasgow、スコットランド
- 症例； 15歳、クライズデール・コブ交雑種、去勢雄、馬
- 病歴； 2年間にわたって散発的にみられた心原性失神を調査

初診時に不整脈を確認



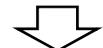
心臓が原因の発作と診断・治療



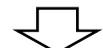
治療後、血液検査・心電図検査結果は正常



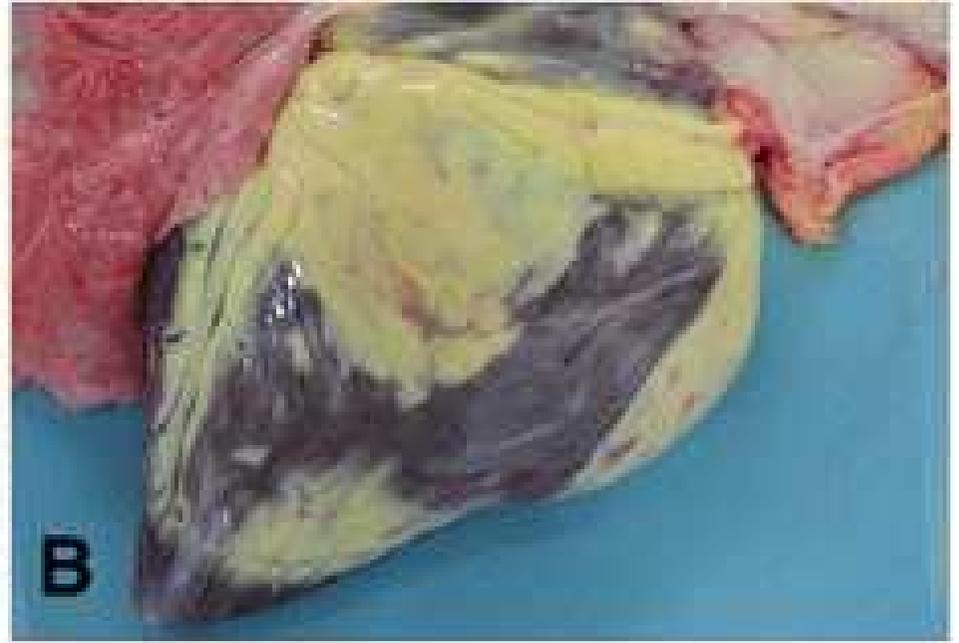
発作が再発し転倒



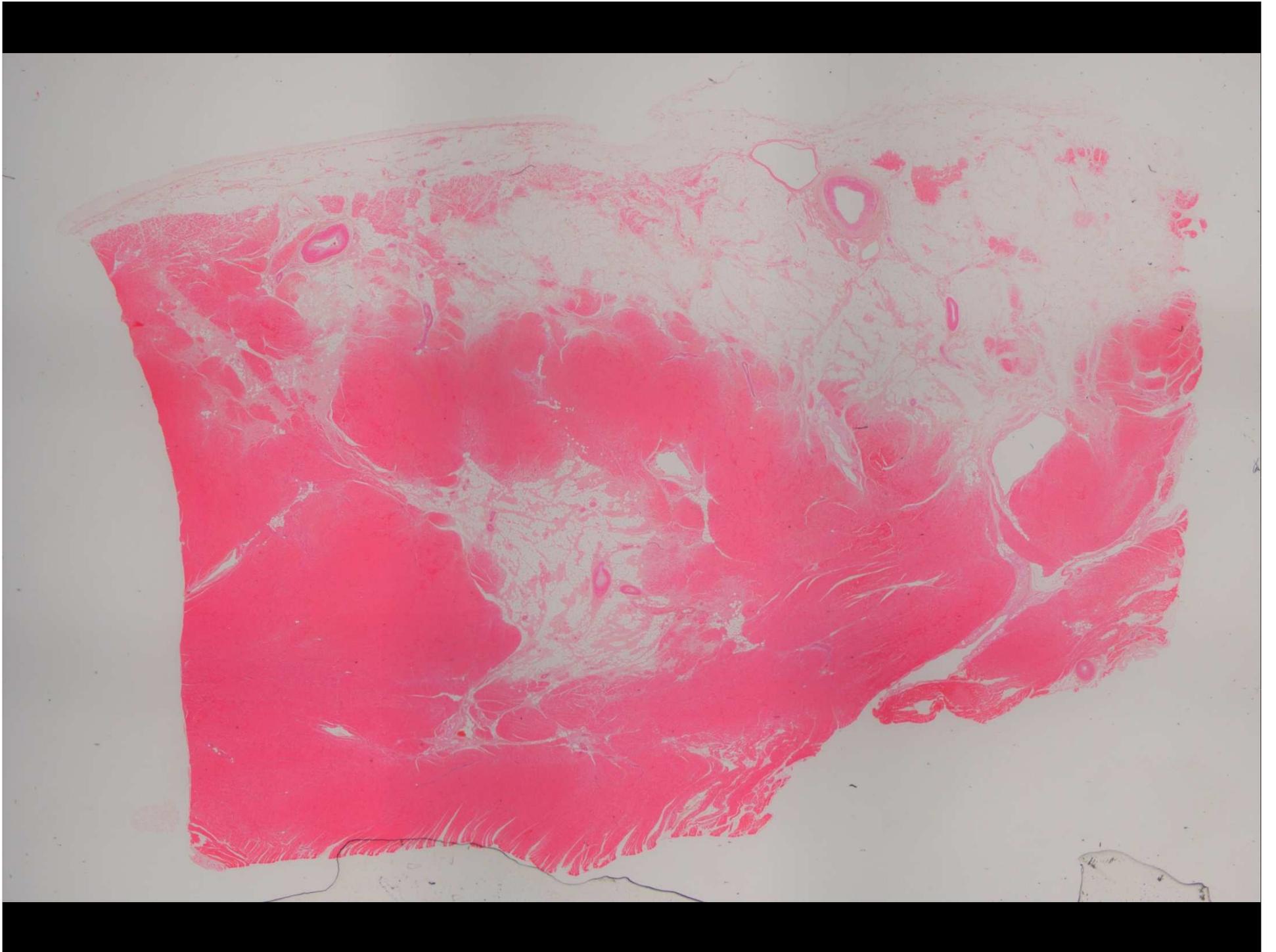
再検査で不整脈を確認

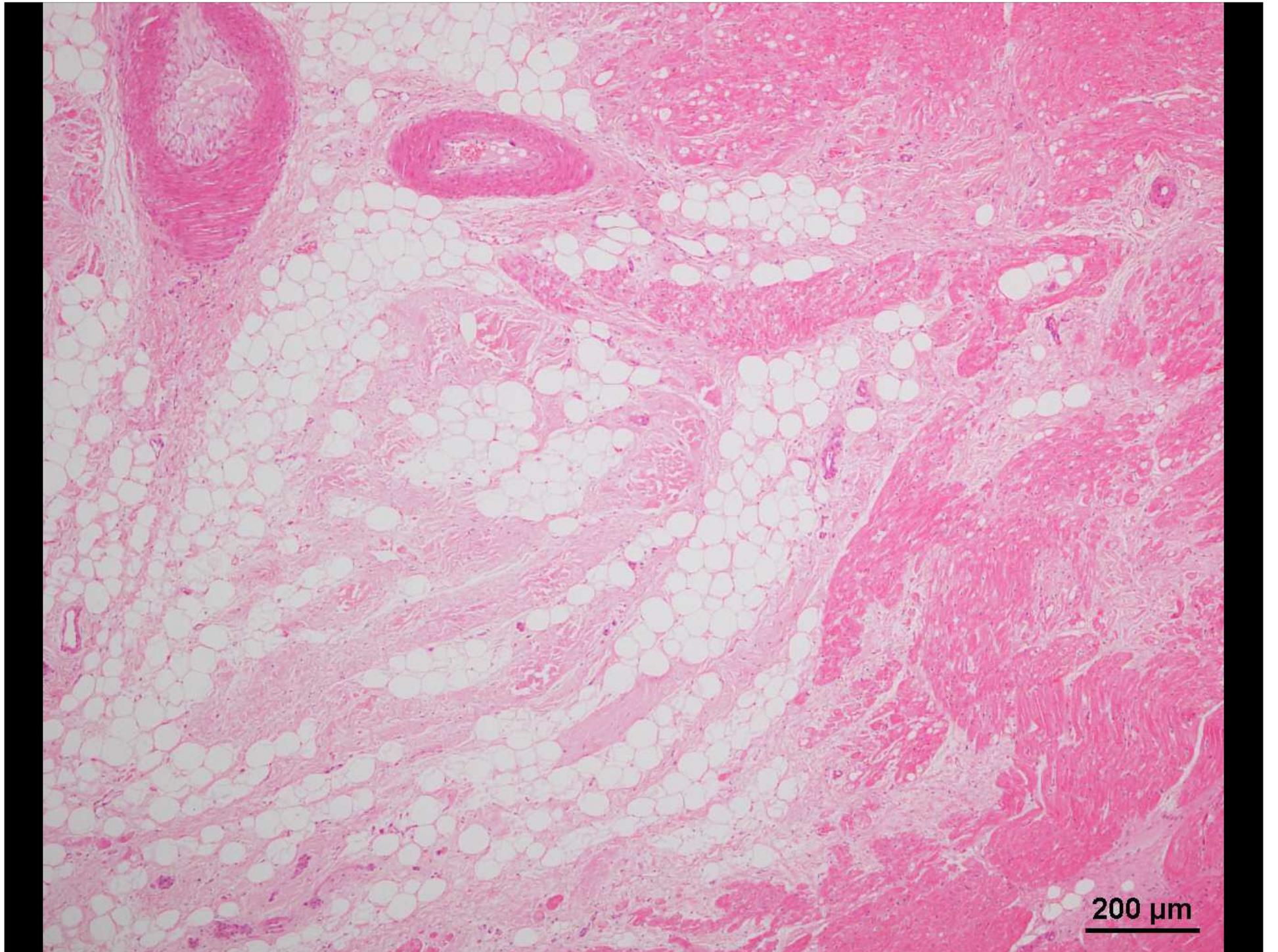


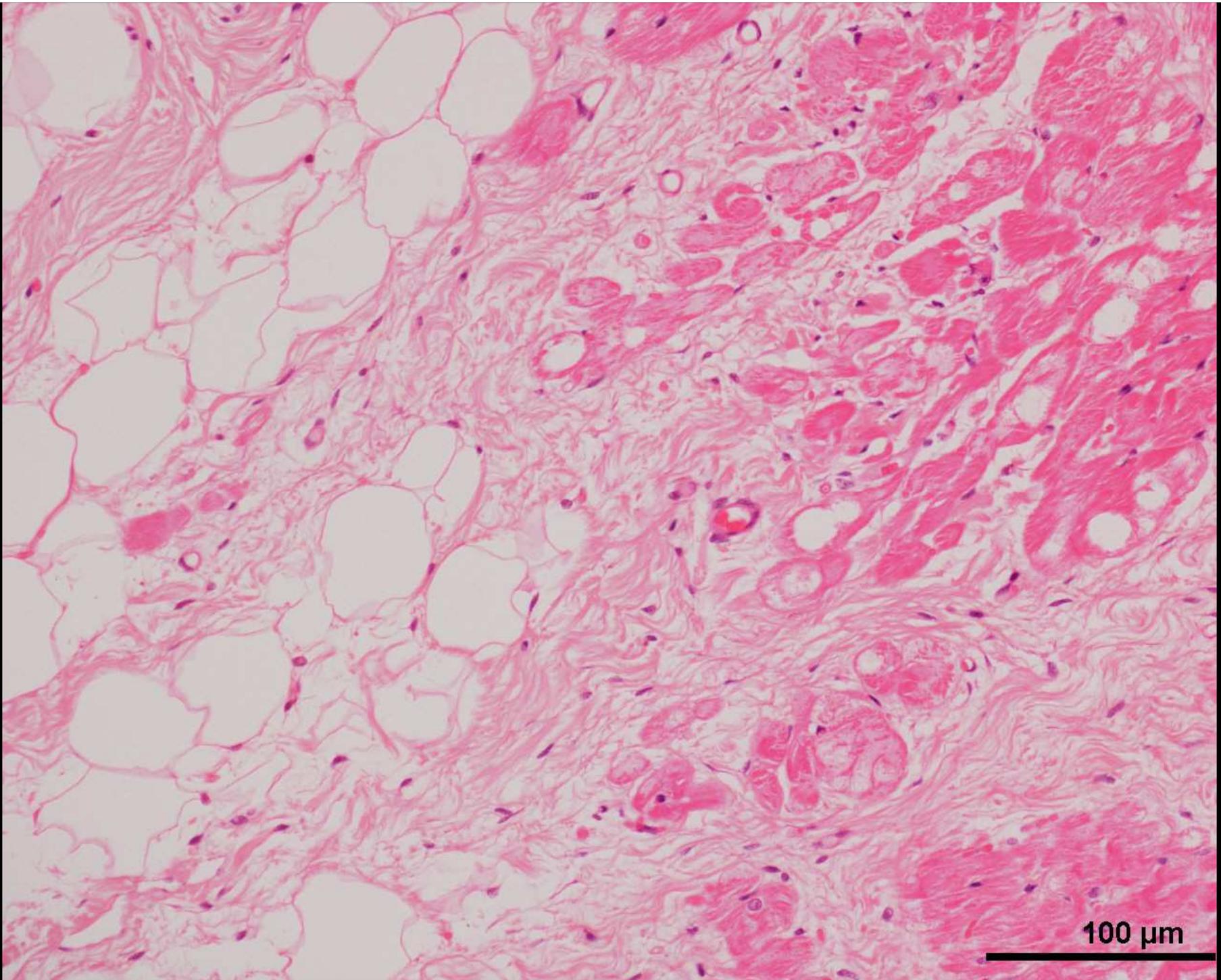
安楽死を選択、解剖を実施

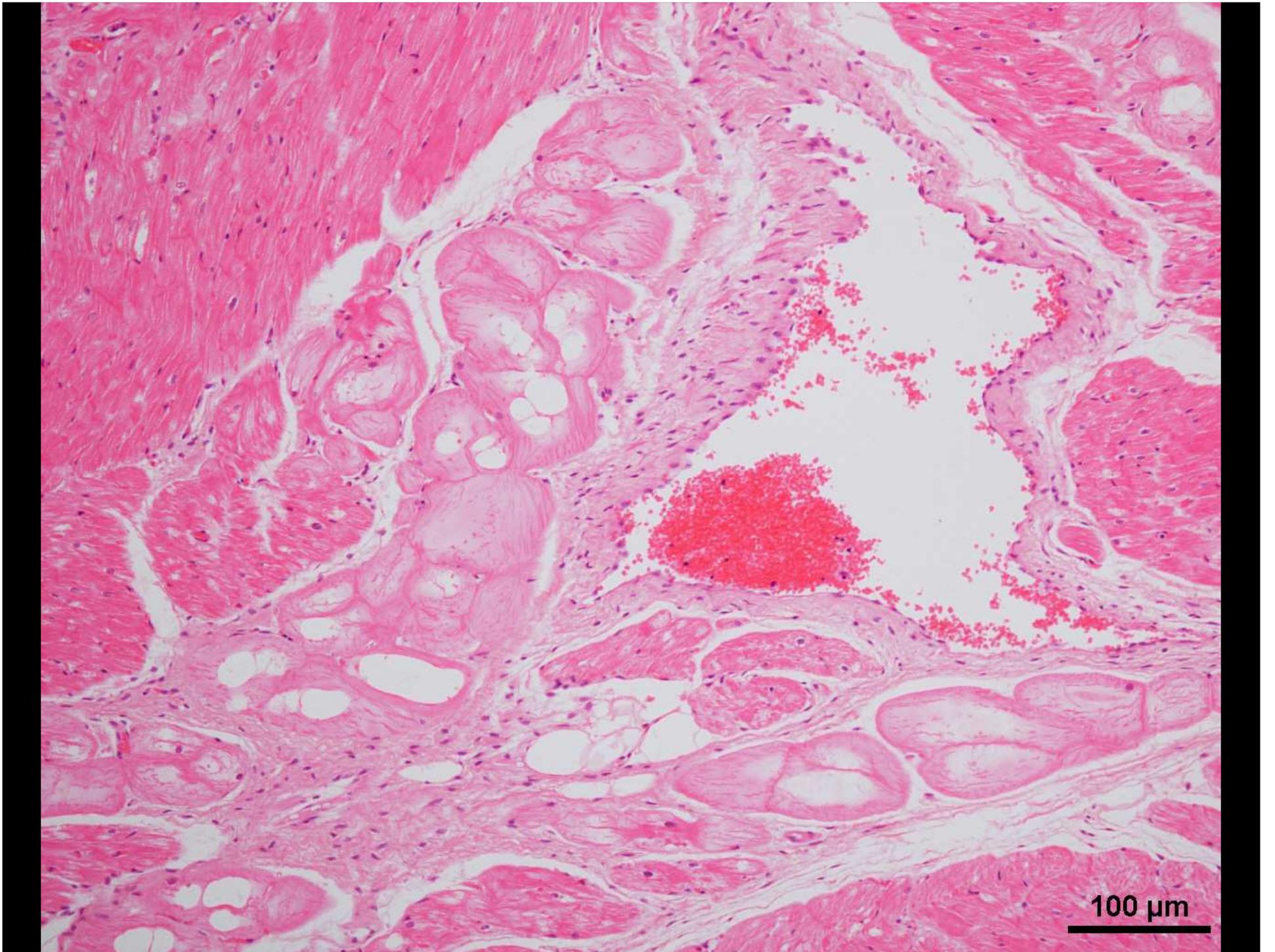


(Irish Vet J 2015;68:24)











提出者の診断

Myocardial degeneration, focally extensive, severe, chronic;
with marked adipose tissue replacement with fibrosis

心筋変性、局所広範性、重度、慢性；
線維症と顕著な脂肪組織への置換を伴う

JPCの診断

Heart, ventricle: Fibrofatty infiltration, subepicardial and myocardial,
multifocal to coalescing, severe, with cardiomyocyte, atrophy, and loss.

心臓、心室：線維脂肪浸潤、心外膜下および心筋、
多病巣性から癒合性、重度、心筋細胞の萎縮および喪失を伴う。

提出症例

...右室が主病巣の心筋の重度の脂肪浸潤、線維化を組織所見とする心筋症

心筋症

1995年WHO/ISFC合同委員会による心筋症の定義と病型分類

定 義：心筋症は心機能障害を伴う心筋疾患をいう

病型分類：1. 拡張型心筋症 (DCM)

2. 肥大型心筋症 (HCM)

3. 拘束型心筋症 (RCM)

4. 不整脈原性右室心筋症 (ARVC)

5. 分類不能の心筋症

特定心筋症 (specific cardiomyopathies)

不整脈原性右室心筋症 (ARVC)

- ✓ 右室心筋における脂肪浸潤・線維化が病理学的特徴
- ✓ 右室拡大、右室壁運動異常により心室性不整脈、心不全、突然死を起こす
- ✓ 現在では心房および左室にも病変を確認
- ✓ 心筋細胞間接着に関与するデスモソーム遺伝子などの変異が原因の遺伝病

提出者及びJPCのコメント

- ヒトのARVCと同様の肉眼的・組織学的所見は動物でも報告
- ボクサー犬で遺伝病として数多く報告
- 猫、チンパンジーでも確認
- 動物では原因遺伝子は特定されていない

馬におけるARVC

- ✓ 提出症例を含め2報、3症例の報告
(Irish Vet J 2015;68:24、Veterinary Record. 2010; 166:718-722)
- ✓ 全症例で右室の心筋の脂肪浸潤・線維化の組織所見を確認
- ✓ 左室に顕著な病変が確認されたのは提出症例のみ
- ✓ 提出症例は2年間に発作を繰り返したが、他は初回発作で急死
- ✓ 他症例も同じ地域のクライズデールとコブの重馬品種の雄
- ✓ 本症例も含めて遺伝病の可能性